



取扱説明書

**BLITZ**

この度は、当社ラジエターをお買い求め頂き、誠に有難うございます。

以下の注意点を正しくご理解の上、お取り付けくださいます様お願い申し上げます。

## 〔1〕安全上のご注意

### ■ はじめに

- ・ 本製品はスポーツ走行を前提とし開発、製作しており、リビルトパーツとは異なります。取り付けに際しては、細心の注意を持ってお取り扱いください。
- ・ この製品についての説明には、製品を使用する際と、自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。良くお読みになって、正しくお使いください。
- ・ 装着車輛に、この製品システム以外の製品装着や改造を行った場合に発生する不具合に関して、弊社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ お客様ご本人または第三者の方が、この製品および付属品の誤った使用や、その使用中に生じた故障、その他の不具合によって受けられた障害については、弊社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ この製品および付属品は、改良のため予告なく変更する事があります。
- ・ 製品の検査や修理の際、外した純正部品を一時的に使用していただく場合がございます。外した純正部品は、捨てずに保管することをお勧めいたします。

### ■ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。

- ・ 換気の良い場所で取り付け作業を行ってください。  
換気の悪い場所で作業を行うと、爆発・火災の原因となります。
- ・ バッテリーのマイナス端子をはずしてから、取り付け作業を行ってください。  
配線のショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・ コネクタを外す場合、ハーネスを引っ張らず、必ずコネクタを持って取り外してください。  
ショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・ この製品に異音・異臭などの異常が生じた場合には、製品の使用をすみやかに中止し、販売店または弊社までお問い合わせください。  
そのまま使用すると、感電や火災、電装部品の破損の原因となります。
- ・ この製品の取り付け時に、エンジンルーム内の電気配線や配管類を傷つけないよう注意してください。  
ショートなどによる火災、電装部品・エンジン・車輛の破損の原因となります。
- ・ 部品交換は自動車が不安定な状態で作業すると危険です。必ず自動車作業専用リフトを使用して、安全に作業してください。

#### 【二柱式リフトをお勧めします】

やむをえずガレージジャッキを使用する場合は、必ずリジットラック(馬、安全スタンド)を併用して安全に作業してください。車載ジャッキでの作業は危険なので絶対に行わないでください。

## 注意

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が軽傷また中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況および物質損害の発生のみが想定される状況を示します。

- ・ この製品の取り付けは、必ず専門業者に依頼してください。  
取り付けには専門の知識と技術が必要です。
- ・ この製品を装着前に落下させたり、装着時に無理な力を加えないでください。  
作動不良や空気漏れの原因になる場合があります。
- ・ この製品の加工・分解・改造は行わないでください。  
事故、火災、感電、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・ この製品の取扱いは慎重に行ってください。落したり強いショックを与えないでください。  
事故、火災、感電、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・ エンジンルーム内の温度が下がってから、作業をはじめてください。  
エンジン本体、ラジエター、排気関係の部品は高温になり、火傷の恐れがあります。
- ・ 定期的に点検を実施し、十分に注意してご使用ください。  
この製品は耐久性を考慮して、厳選された材料を使用し、厳重な社内品質管理のもとに製造されていますが、車両の使用条件などにより、耐久性が落ちたりする事があります。
- ・ 取り付け作業のために一時的に取り外す純正部品は、破損・紛失しないように大切に保管してください。  
当社は取り付け作業による物的損害の責任を負うことはできませんので、慎重に作業を行ってください。
- ・ ボルト・ナット類は、適切な工具で確実に締め付けてください。  
必要以上に締め付けを行うと、ボルトのネジ部が破損します。
- ・ 本製品はアルミ製品でエンジン始動中、始動後は大変高温になるので素手で触れないで下さい。

## 重要事項

- ・ この製品はノーマル車輛を基準に製作されています。  
ノーマル車輛以外に取り付けた場合は、製品の機能・性能及び安全性・耐久性について保証いたしかねます。
- ・ 製品装着時は、異物が混入しないよう、十分に注意をしてください。  
異物等が混入すると最悪の場合エンジン破損の原因になる場合があります。
- ・ 純正部品の取り付け、取り外しの作業はメーカー発行の整備要領書をよく読んでから行ってください。整備要領書がお手元にない場合はメーカーにてご購入ください。
- ・ 走行前には、冷却水の漏れがないか点検を行ってください。漏れのある状態での走行は、車輛エンジン破損等の恐れがあり危険です。

## 〔2〕取り付け作業にあたって

- ・ 当社商品は純正形状を採用しており、基本的には純正品に準じた取り付け方法となっておりますが、タンク部、コア部の厚みが増す為、一部の車輛においては、ラジエター本体がA/Cパイプなどに干渉する、クリアランスが狭くなるケースがあります。その場合にはシュラウドを加工、もしくはパイプを少し曲げる等してクリアランスがなるべく広くなる様お取り付けください。
- ・ 一部の車輛において、純正品とタンク部の形状が異なるため、エアクリーナーへのエアダクト等が取り付けできない車輛があります。その場合には、エアダクトを取り外すか、加工をして取り付けを行ってください。
- ・ 純正ラジエター、弊社ラジエター共に、上下のラバーマウントにより車輛に固定されております。よって絶縁状態になっており、通電すると電触漏れが発生します。電動ファンなどの帯電部品を装着される場合は必ずアースをお取りください。
- ・ 事故後の車輛等に取り付けの場合、ファンブレードとラジエターとのクリアランスが少なくなっている車輛があります。取り付けの際、干渉する、もしくは干渉する恐れがある場合にも取り付けは行わないでください。コアを破損することがあります。
- ・ 当社商品は純正形状のため、ラジエターの取り付け位置に変わりはありませんが、車輛の個体差、ラバーの経年変化、商品誤差等により固定部品とラジエターに隙間が開いてしまい、ラジエターの固定が不安定になる場合があります。その場合には、ラバーを新品にして頂くか、ラジエター上側のラバーの間にワッシャーを挟んで固定してください。
- ・ ドレンボルト、エア抜き口の締め過ぎによりボルト及びベースが破損する場合があります。手締めで締めた後、1/4回転程度に増し締めを行ってください。取り付け後には必ず締まっている事を確認してください。
- ・ 出荷時、水温センサー取り付け用 1/8PT サービスホールにはプラグが入っています。取り付け前に締まっているか確認を行ってください。装着後、水が滲んでしまう場合は、シールテープを巻きなおして再度取り付けてください。

### 〔3〕商品の特徴



ラジエーター本体



ラジエーターキャップ形状比較

- ・ 大容量2層タイプの超軽量オールアルミタイプ。
- ・ 新設計のアウトターフィン&チューブで前置きI/C装着車でも高効率な熱交換を実現。
- ・ 水温計のセンサー取り付けに便利な1／8PTサービスホール付き。
- ・ 純正ラジエーターと交換するだけの簡単装着（一部加工が必要な車種があります）。
- ・ タンクバフ研磨、アルマイト仕上げアルミドレンボルト、BLITZ オリジナルのラジエーターキャップを標準装備し、性能のみならずクオリティーも追及。

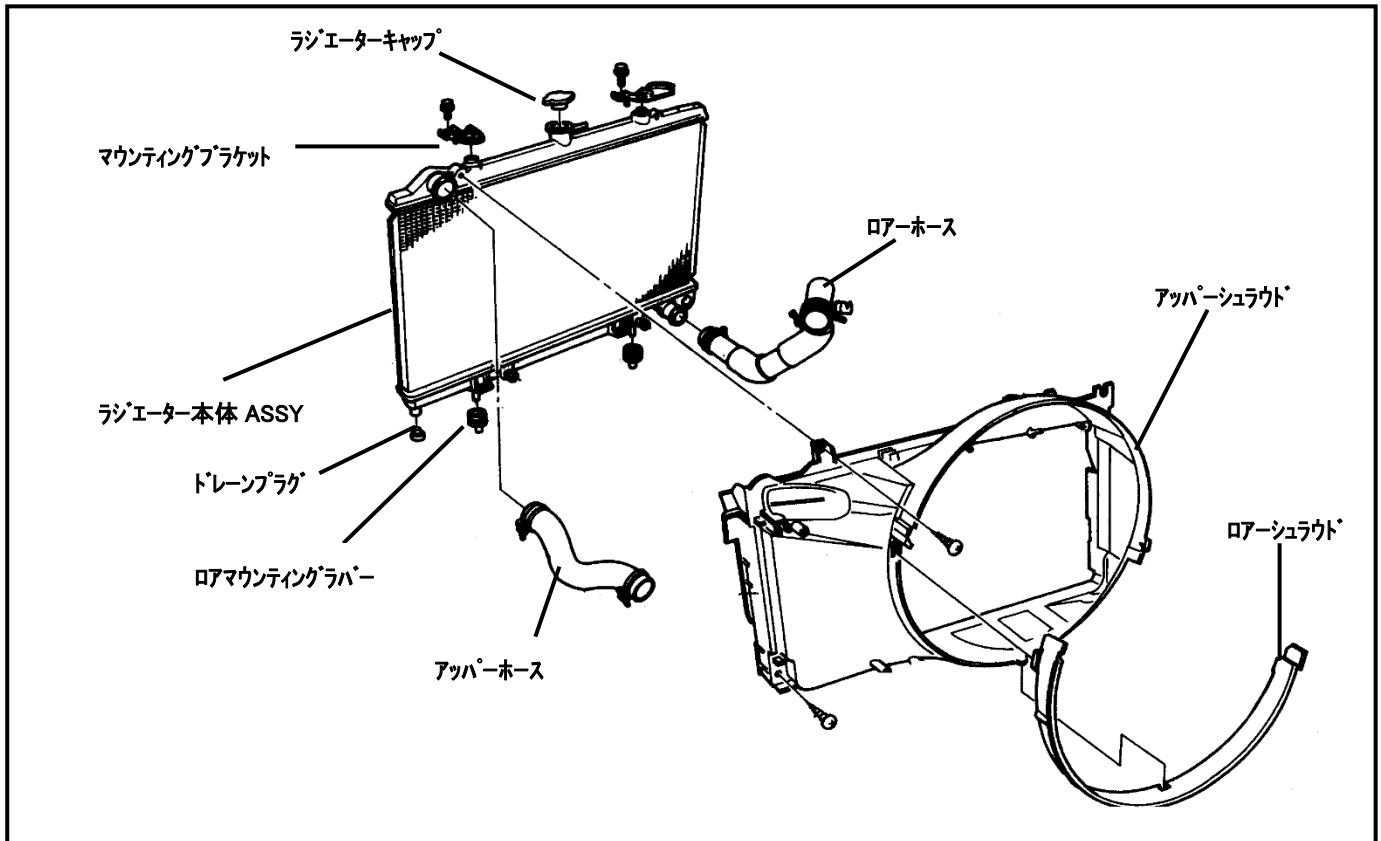
※補修部品としてラジエーターキャップをお求めの際は、下記表より該当車両の“適合タイプ”を確認してお買い求めください。ラベル色が青色は TYPE-1、赤色は TYPE-2 となります。

| 品番    | 代表車種                                        | 本体重量<br>[kg] | コア厚<br>[mm] | 本体水容量<br>[L] | コアサイズ<br>[mm] | 水温センサー<br>取付位置(1/8PT) | ラジエーターキャップ<br>適合タイプ |
|-------|---------------------------------------------|--------------|-------------|--------------|---------------|-----------------------|---------------------|
| 18851 | RADIATOR Type-ZS ZC31S M16A                 | 5.4          | 42          | 3.9          | 375×558       | アッパータンク               | TYPE-1              |
| 18852 | RADIATOR Type-ZS GDB A/B 型 BH5/BE5          | 5.61         | 42          | 4.5          | 338×683       | アッパータンク               | TYPE-1              |
| 18853 | RADIATOR Type-ZS GDB C-G 型                  | 5.61         | 42          | 4.5          | 340×678       | アッパータンク               | TYPE-1              |
| 18854 | RADIATOR Type-ZS CN9A/CP9A エボ 4-6           | 6.2          | 42          | 4.9          | 375×688       | アッパータンク               | TYPE-1              |
| 18855 | RADIATOR Type-ZS GT9A エボ 7-8MR              | 5.6          | 42          | 4.3          | 375×678       | アッパータンク               | TYPE-1              |
| 18856 | RADIATOR Type-ZS ECR33/ER34 T/NA            | 5.8          | 42          | 4.1          | 400×638       | アッパータンク               | TYPE-1              |
| 18857 | RADIATOR Type-ZS BP5/BL5 EJ20               | 5.7          | 42          | 4.6          | 340×678       | アッパータンク               | TYPE-1              |
| 18858 | RADIATOR Type-ZS S14/15 SR20DE(T)           | 5.6          | 42          | 4.1          | 360×648       | アッパータンク               | TYPE-1              |
| 18859 | RADIATOR Type-ZS GC8,BG5 EJ20               | 5.8          | 42          | 3.1          | 388×670       | 運転席側                  | TYPE-1              |
| 18860 | RADIATOR Type-ZS HCR32/A31 RB20DE(T)        | 6            | 42          | 4.2          | 383×648       | アッパータンク               | TYPE-1              |
| 18861 | RADIATOR Type-ZS (R)PS13 SR20DE(T)          | 5.6          | 42          | 4.1          | 360×648       | アッパータンク               | TYPE-1              |
| 18862 | RADIATOR Type-ZS Z33 VQ35DE                 | 6.1          | 42          | 4.5          | 400×718       | アッパータンク               | TYPE-1              |
| 18863 | RADIATOR Type-ZS GRB EJ20                   | 5.7          | 42          | 4.6          | 340×678       | アッパータンク               | TYPE-1              |
| 18864 | RADIATOR Type-ZS CZ4A 4B11 MIVEC            | 5.7          | 42          | 3.3          | 408×700       | 運転席側                  | TYPE-1              |
| 18865 | RADIATOR Type-ZS Z27AG 4G15 コルト             | 3.25         | 26          | 2.2          | 368×624       | 運転席側                  | TYPE-1              |
| 18866 | RADIATOR Type-ZS JZX110 1JZ-GTE             | 4.8          | 42          | 3.4          | 400×718       | アッパータンク               | TYPE-1              |
| 18868 | RADIATOR Type-ZS BR9 EJ20                   | 5.7          | 42          | 4.6          | 340×678       | アッパータンク               | TYPE-1              |
| 18869 | RADIATOR Type-ZS ND5RC P5-VP                | 4.3          | 34          | 2.9          | 403×550       | 運転席側                  | TYPE-1              |
| 18870 | RADIATOR Type-ZS HA36S R06A                 | 2.7          | 34          | 1.5          | 400×292       | アッパータンク               | TYPE-1              |
| 18871 | RADIATOR Type-ZS JW5 S07A                   | 4.0          | 34          | 2.2          | 350×577       | アッパータンク               | TYPE-1              |
| 18872 | RADIATOR Type-ZS FK7 L15C                   | 4.6          | 42          | 3.3          | 435×675       | 助手席側                  | TYPE-1              |
| 18873 | RADIATOR Type-ZS ZC33S K14C                 | 4.3          | 42          | 4.8          | 375×663       | アッパータンク               | TYPE-1              |
| 18874 | RADIATOR Type-ZS FK8 K20C                   | 5.5          | 42          | 4.1          | 375×682       | アッパータンク               | TYPE-1              |
| 18875 | RADIATOR Type-ZS ZC6/ZN6, ZD8/ZN8 FA20,FA24 | 3.6          | 42          | 3.0          | 348×650       | 運転席側                  | TYPE-2              |

## 〔4〕ラジエター脱着手順

※ 取り扱い説明書に載っていない車両は下記手順を参考に脱着作業を行ってください

PS、RPS13の場合

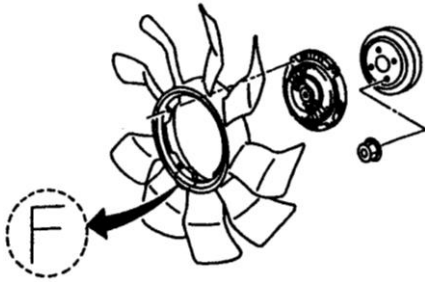


※エンジンルーム内が冷えていることを確認してから作業を行ってください。水温が冷えていないと、ラジエターキャップを外す際、冷却水が噴出し、やけどする恐れがあります。

- 1 バッテリーのマイナス端子を外す。
- 2 アンダーカバーを取り外す。
- 3 ラジエタードレンプラグを外し、ラジエターキャップを外して冷却水を抜き取る。
- 4 リザーバータンクを取り外し、冷却水を排出する。
- 5 ラジエター、アッパーシュラウド上部にエアダクト、インテークパイプ、配管、配線等などがある車両は取り外す。
- 6 ラジエターアッパーホースを取り外す。
- 7 ラジエターロアホースを取り外す。
- 8 A/Tオイルクーラーホースを取り外す。(AT車のみ)  
 ※A/Tオイルクーラー配管側にATFが流失しないようプラグ栓をしてください。
- 9 水温センサーハーネスコネクター、電動ファンハーネスコネクター等がある車両は、取り外す。
- 10 ラジエターマウンティングブラケット(左右)を取り外す。
- 11 ラジエターロアシュラウドが取り外しできる車両は、フック(左右2箇所)を押しながら解除し、ツメを外して取り外す。

## 12 ラジエターASSYを取り外す。

※ラジエターコア、フィンに傷をつけないよう注意して取り外す。

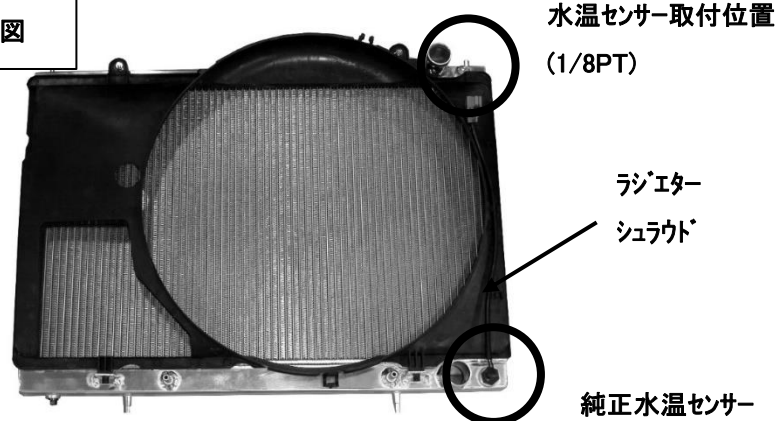


※ スカイライン系にはロアシュラウドがない車種もありラジエターを取り外しにくい車輛があります。その場合、ファンベルトを緩め、ウォーターポンププーリからクーリングファンを外し(M6ナット 4個)ラジエターASSYと一緒に持ち上げ取り外してください。

## 13 ラジエターからファンシュラウドを取り外す。

## 14 ラジエターに純正水温センサー等が付いている車輛は、取り外す。

ECR33ラジエターシュラウド取り付け図



## 15 純正ラジエターから取り外したシュラウド、純正水温センサー(一部の車輛)等を当社ラジエターに移植する。

※1/8PTサービスホールに水温センサーを取り付ける場合、シュラウドに干渉してしまう場合には干渉しないよう加工をしてください。

※上図 BCNR33、ECR33、WGNC34、ER34は共通品ですがER34等には純正センサーが付いていない為、出荷時にプラグが付いています。車輛に純正水温センサーが付いている場合にはプラグを外し、純正水温センサーを移植してください。付いていない場合にはそのままプラグを外さず、締まっている事を確認してください。

※純正のロアマウンティングラバー等を忘れずに移植してください。

## 16 当社ラジエターをエンジンルームに取り付ける。

※エンジンルームに取り付ける際、ラジエター、フィンに傷をつけないように注意してください。

※コアの厚みが増していますので、シュラウドがエアコンパイプ、フレーム等に干渉してしまう(干渉してしまう恐れがある)場合には、干渉しないよう加工してください。

※コアの厚みが増しているため12項のクーリングファンに接触し取り付けにくい車輛があります。

その場合12項を参考に、クーリングファンを取り外し、ラジエターASSYと一緒にクーリングファンをシュラウド内に寄せエンジンルームに取り付けを行ってください。

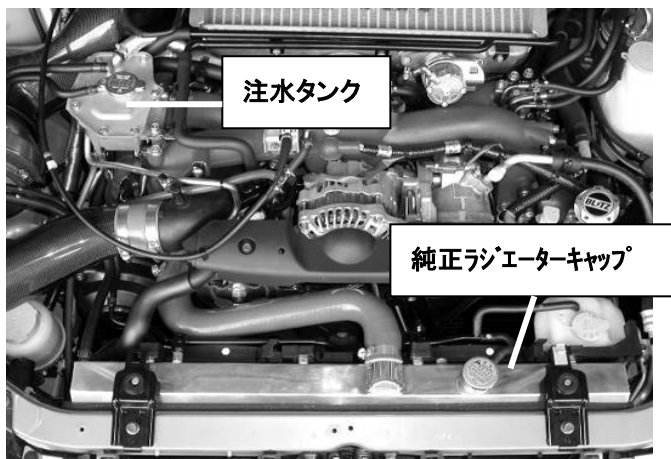
## 17 その他は取り外しと逆の手順で取り付けする。

**Z33の場合**

冷却水を抜いた後、スペースがあまり無いので、はじめに電動ファンのみを取り外してください。  
その後、マウンティングブラケットを取り外し、ラジエターをフリーにします。次にコンデンサーがラジエターに固定されていますので、コンデンサーをラジエターからずらして下さい。  
(上側 ボルト2箇所、下側 ツメの差し込み2箇所)。その後ラジエターを車両より取り外してください。

**BP5/BL5 及び G#B/G#F の場合**

ファンコネクタが EG と干渉する場合があります。コネクタの固定クリップを外し、移設する必要があります。  
リザーブタンクへのホースが干渉する為、リザーバーパイプを曲げ加工する必要があります。  
ラジエターアッパーホースとファンシュラウド、エンジン補機類のクリアランスが狭くなります。  
ホースをカットして取り付けして下さい。カットする際は取付角度を見ながら少しずつ行って下さい。

**GDB C-G 型 GRB BP5 BL5 の場合**

GDB C型

※左図を参考に、該当の車種は当社ラジエターに純正のラジエターキャップ(丸型)を取り付け、付属のラジエターキャップは注水タンク側に取り付けてください。

**JZX100 の場合**

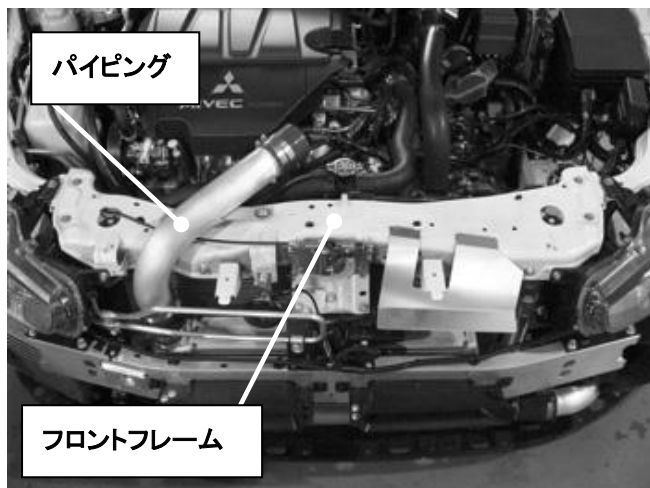
ラジエターホース周辺及び、水温センサー用サービスホール周辺のファンシュラウドをカットする必要があります。

**ECR33/ER34 の場合**

パワステホースがファンシュラウドに干渉する場合がある為、ファンシュラウド側をカットする必要があります。

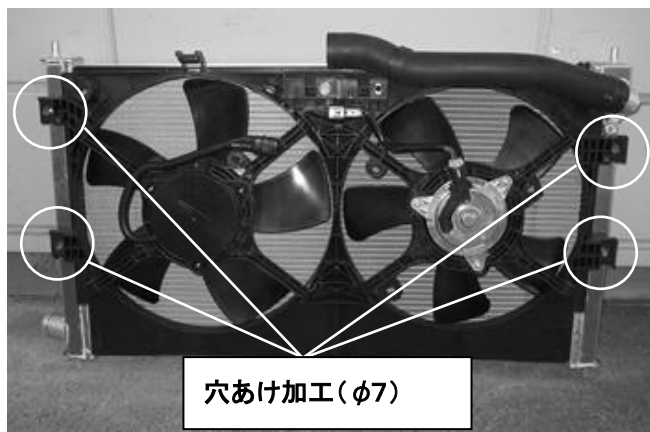


## CZ4A 場合

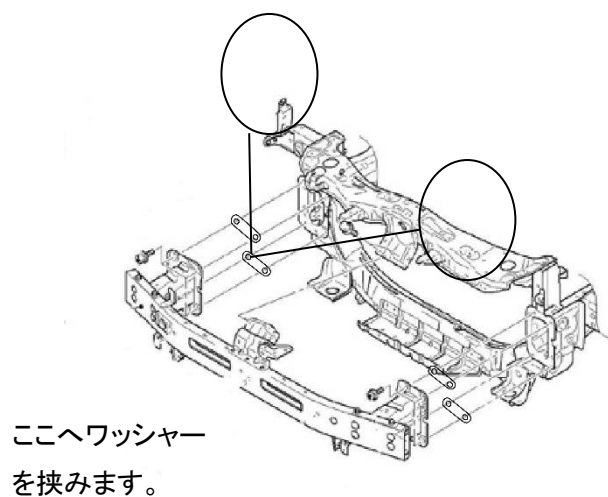


## ※CZ4A の場合

- 1 フロントバンパー、クリーナーダクト、樹脂カバー、インタークーラーパイピング、フロントフレームを取り外し、純正ラジエターを取り外してください。



- 2 取り外したファンシュラウドを、ラジエターに当て、各部に干渉が無いよう、位置を調整します。左図を参考に、4ヶ所ファンシュラウドへ穴空け加工(φ7)を行ってください。
- 3 反対側のA/Cコンデンサーも同様に、ラジエターボス位置に合わせ、コンデンサステー部分へ穴空け加工を行ってください。



※当社インタークーラーキットと同時装着をする際に、エアコンのコンデンサーとコアサポートが干渉する場合があります。干渉する場合は、付属のワッシャーをコアサポートと車体フレームの間へ挟んでスペースを広げてください。

**ZC31S の場合**

作業にはバンパーを取り外す必要があります。また、タンクとバンパーの一部が干渉することがある為、バンパー側をカットする必要があります。

**BR9/VAG/VM4 の場合**

- ・コアの厚みが増す為、アッパーホースとロアホースがエンジンと接触する場合があります。  
ホースのラジエター側をカットして取り付けてください。
- ・ファンシュラウドがエンジン部品、排気系部品に接触する、またはクリアランスが狭すぎる場合はシュラウドを削り加工して、クリアランスを確保して下さい。

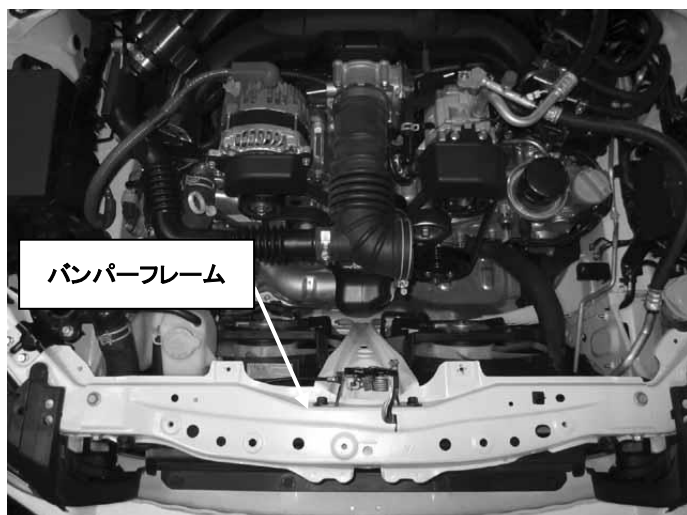
**Z27AG の場合**

作業にはバンパーを取り外す必要があります。  
水温センサー用 1/8PT サービスホールは、助手席ヘッドライト横に位置します、ラジエター装着後のセンサーの脱着にはバンパーを取り外す必要があります。

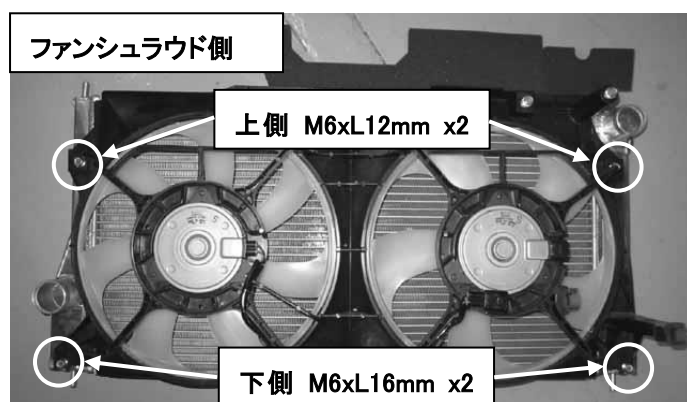
**ZC6/ZN6, ZD8/ZN8 の場合**

ラジエターキャップは付属の No.18561 RACING RADIATOR CAP TYPE-2 を使用してください。  
本品にはラジエターキャッププレートは付属しません。  
水温センサー用 1/8PT サービスホールは、運転席ヘッドライト裏側に位置します。  
ラジエター装着後のセンサー脱着にはバンパーを取り外す必要があります。  
コンデンサー取り付けには付属の M6xL12mm のボルト 4 ケを使用してください。  
ファンシュラウド取り付けには上側に M6xL12mm、下側に M6xL16mm のボルト各 2 ケずつ使用してください。

## ZC6/ZN6, ZD8/ZN8 の場合 続き



バンパー及びフロントフレームを取り外してください。



ファンシュラウド、コンデンサーは付属のボルトで固定します。  
ファンシュラウド側は左図を参考に固定してください。コンデンサー側は M6xL12mm を 4 ケ使用して固定してください。



左図のファンシュラウド斜線部分がバンパーフレームと干渉する場合は斜線部をカット加工してください。



左図丸印部のボンネットキャッチを固定している純正ボルト先端がファンシュラウドと干渉する場合は、付属の M8xL12mm のボルトへ交換してください。

**ND5RC、NDERC の場合**

車体下部から引き抜く構造の為、車体をジャッキアップしてください。

ステー部のゴムキャップを純正ラジエターから製品に移し替えてください(6ヶ所)



ゴムキャップ(6ヶ所)

ファンシュラウドは装着後、上部ステーを M4 ボルトで外れないように固定してください。



シュラウド上部ステー



M4 ボルト

コンデンサ側のステーは、構造上ステーの隙間が閉じていることがあります。

閉じている場合は工具などで適切なクリアランスに引き起こしてから取り付けください。



コンデンサ側ステー

付属のボルトは M4 がシュラウド固定用、M6 がコンデンサ下側取り付け用になります。

純正のボルトを使用するとねじ部が長いため、本体奥まで当たってしまい、コンデンサをしっかりと固定出来ない場合があります。

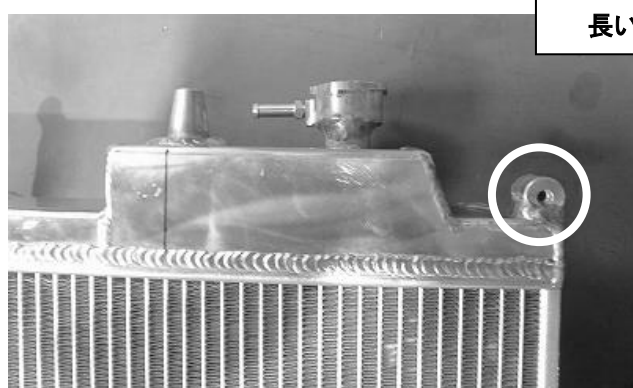
## HA36S の場合

ファンシュラウド、コンデンサは、付属のボルトで固定します。

※コンデンサ上側、シュラウド下側に長いボルトを使用して下さい。

※コンデンサ下側、シュラウド上側に短いボルトを使用して下さい。

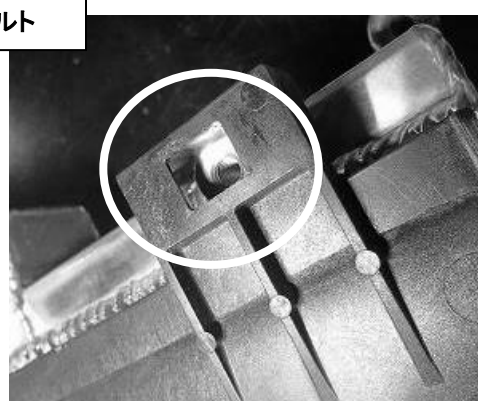
ねじが本体奥まで当たってしまう場合は、ワッシャを挟む等してねじ部の長さを調整し固定して下さい。



長いボルト

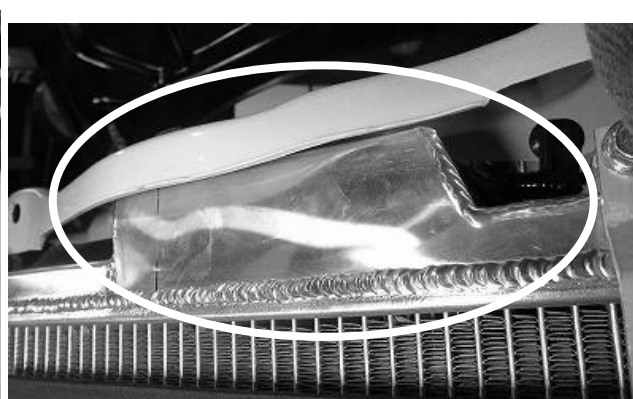


短いボルト

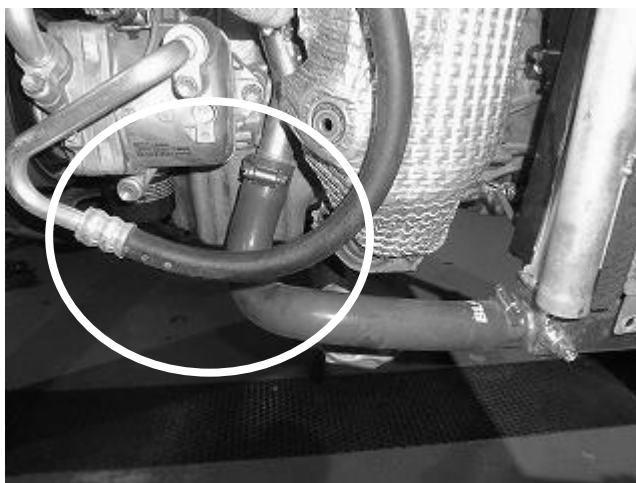


コンデンサ取付の際、溶接ビードが邪魔でコンデンサ上側ステーとラジエター本体が離れてしまう場合は、間にワッシャを挟む等して、しっかりと当たるように調整して下さい。

ラジエター上部とフレームのクリアランスが狭すぎる場合はフレームを少し曲げ、干渉を防いで下さい。



## HA36S の場合 続き



エアコンパイプとバンパーフレームのクリアランス、  
エアコンホースとバンパーのクリアランス  
が狭すぎる場合は、パイプを少し曲げ、  
クリアランスを確保した上で、スポンジテープ等で  
養生して下さい。  
※曲げすぎない様、ご注意下さい。



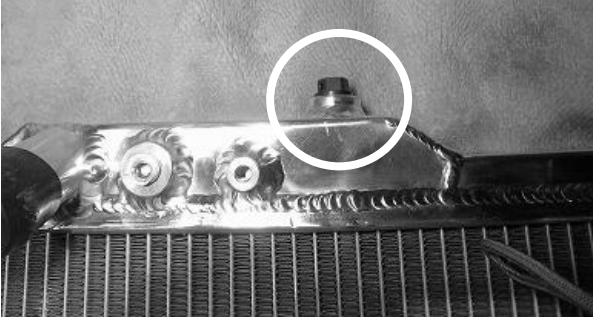
ラジエターシュラウドとバッテリーステー間の  
コネクタがバッテリーステーに当たる場合、  
バッテリーステーのボルト穴をヤスリ等で長穴  
加工するか、コネクタをシュラウドより外し、  
位置を変更して、バッテリーステーに干渉しない  
様に取り付けて下さい。



アッパーホース取付時、曲がりきつすぎる  
場合は、ホースを少しカットして、なるべくホース  
に負荷がかからない様取付けて下さい。

## JW5 の場合

付属のボルトはファンシュラウド取付用になります。コンデンサ取付は純正品のボルトを使用して下さい。ねじが本体奥まで当たってしまう場合は、ワッシャを挟む等してねじ部の長さを調整し固定して下さい。



ラジエター上部についているアルミのボルトは冷却水注入時のエア抜き時に使用して下さい。

※エンジン始動時は必ず締めて下さい。



純正ラジエター下部に付いている水温センサは弊社ラジエターに移植して下さい。

また、取付時はOリングがセンサー取付台座にきちんと当たっている事を確認してください。

締め付けすぎるとOリングが損傷しますので、ご注意下さい。工具で軽く締め、手で緩まない程度で大丈夫です。



ラジエター下部、センサーハーネスのクリップは取付出来なくなります。

配線が遊んでしまう場合はファンシュラウドにタイラップで固定する等の対策をして下さい。

固定する場合は、配線が張りすぎない様注意して下さい。



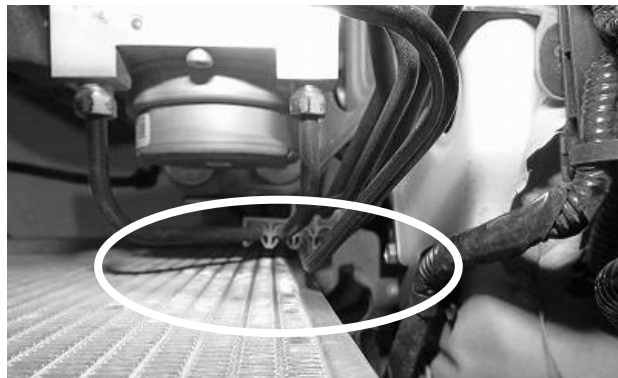
ロアホースとシュラウドが干渉する、もしくは近すぎる場合は、ホースの角度を変える、シュラウドを削る等して、クリアランスを確保して下さい。



## JW5 の場合 続き



コンデンサ上部のボルトとフレームが干渉、またはクリアランスが狭すぎる場合は、フレームを少し削って干渉を防いで下さい。



ABS ユニットの配管とラジエター本体が接触しない事を確認して下さい。  
接触する、もしくは近すぎる場合にはパイプを少し曲げて下さい。曲げすぎない様注意して下さい。



アッパーホースとユーティリティボックスが干渉する場合、または、ホースの曲がりがかつい場合はアッパーホースを少し切って干渉しない様に取付して下さい。  
切りすぎない様、注意して下さい。



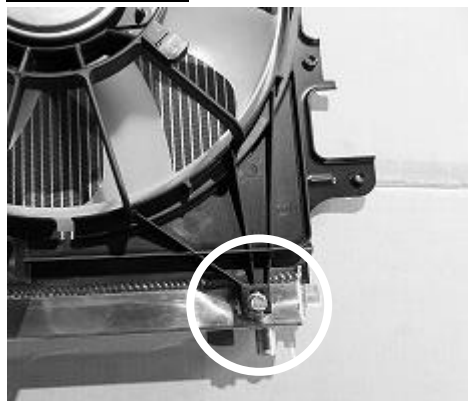
ファンシュラウドとユーティリティボックスが干渉する場合は、ファンシュラウドを削って干渉しない様に取付して下さい。



ラジエター本体とボンネット開閉用ワイヤーが干渉する、もしくは近すぎる場合は、ワイヤーのステーを曲げて干渉を防いで下さい。



## ZC33S の場合



シュラウド 1 箇所純正ボルト

シュラウドの取付には長いボルト+純正ボルト、サイドステーの取付には短いボルトを、コンデンサには純正ボルトを使用して下さい。ねじが本体奥まで当たってしまう場合は、ワッシャーを挟む等してねじ部の長さを調整し固定して下さい。



アッパ/ローアース取付時、曲がりきつすぎる場合は、ホースを少しカットして、なるべくホースに負荷がかからない様取付して下さい。



エアコンパイプ、エアコンホースがシュラウド等と干渉する、近すぎる場合はパイプ部を少し曲げ、干渉を防いで下さい。  
エアコンパイプは画像以外の箇所もクリアランスが確保出来ているか確認して下さい。

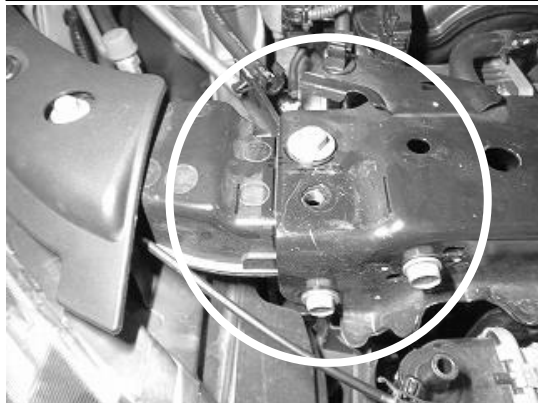


ラジエターリザーブタンクがターボと近くなります。リザーブタンクにアルミテープを貼る等して熱対策を行って下さい。



インタークーラーホースがシュラウドに干渉する、もしくは近すぎる場合はシュラウドをカットして下さい。

シュラウド、コンデンサの取付には純正ボルトを使用して下さい。

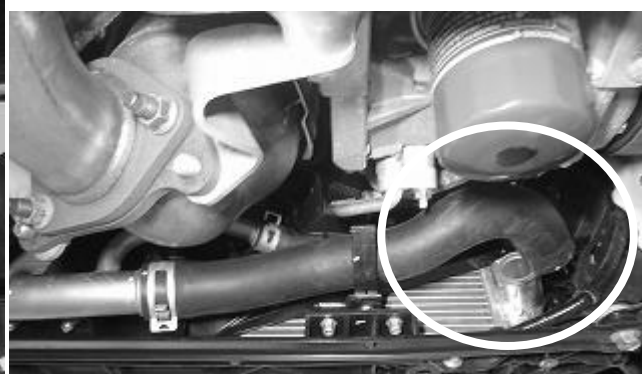
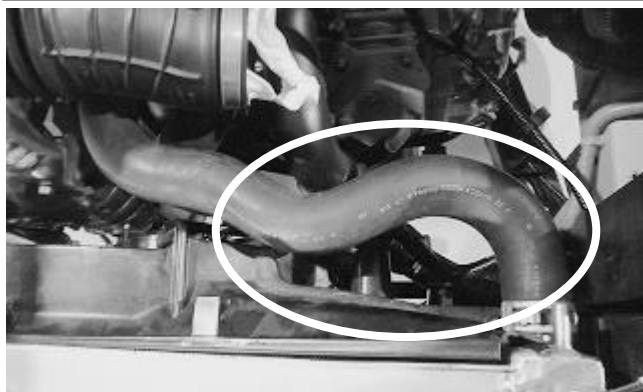


純正ラジエーター下部に付いている水温センサは  
弊社ラジエーターに移植して下さい。

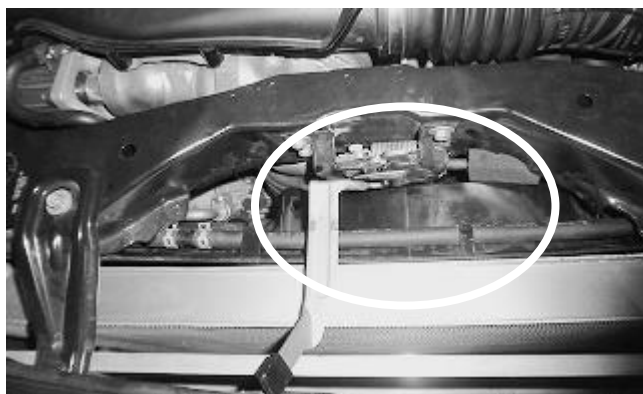
また、取付時は O リングがセンサー取付台座にきちんと  
当たっている事を確認してください。

締め付けすぎると O リングが損傷しますので、ご注意下さい。  
工具で軽く締め、手で緩まない程度で大丈夫です。

ラジエーター上部のフレームと、その手前につくバンパーフレーム  
の位置でバンパーとボンネットの取付け位置が変わります。取り  
外す前に元々の位置が分かるよう、マーキングして下さい。



アッパー、ロアラジエーターホースの曲がりがつい、またはシュラウドに干渉する場合はホースを 1~2cm 程度カットして  
下さい。アッパーホースはエンジン側、ロアホースはストレート側をカットして下さい。



ファンシュラウドとストライカーが干渉する、または近  
すぎる場合はシュラウドを削り加工して下さい。



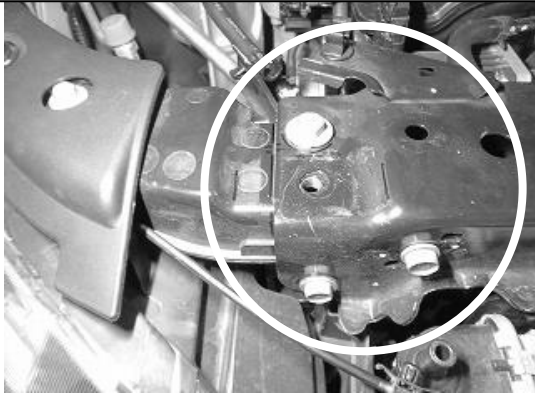
インタークーラーホースとファンシュラウドが干渉する、  
または近い場合はシュラウドを削り加工して下さい。



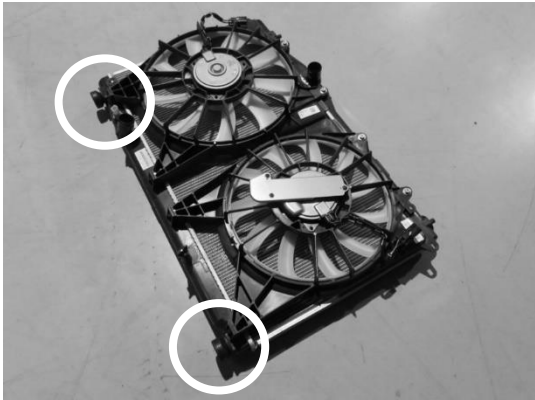
コンデンサの取付ボルトは下→上の順に取付して下さい。  
取付穴が合わない場合は、一度ラジエーターを車体より取り外し、  
上側コンデンサステーの長穴加工を行って下さい。

## FK8 の場合

シュラウド、コンデンサの取付には純正ボルトを使用して下さい。



ラジエター上部のフレームと、その手前につくバンパーフレームの位置でバンパーとボンネットの取付け位置が変わります。取り外す前に元々の位置が分かるよう、マーキングして下さい。



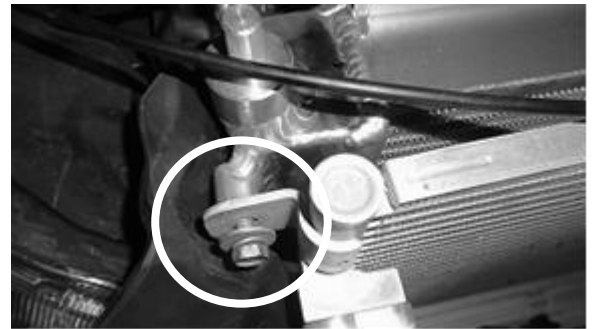
純正のロアアクションは取り外して製品に取り付けて下さい。



純正ラジエター下部に付いている水温センサは弊社ラジエターに移植して下さい。

また、取付時は O リングがセンサー取付台座にきちんと当たっている事を確認してください。

締め付けすぎると O リングが損傷しますので、ご注意下さい。工具で軽く締め、手で緩まない程度で大丈夫です。



コンデンサの取付ボルトは下→上の順に取付して下さい。

取付穴が合わない場合は、一度ラジエターを車体より取り外し、上側コンデンサステーの長穴加工を行って下さい。

#### エアクリーナー導入ダクトの取り外し

以下の車両の場合、ラジエータータンク部とエアクリーナー導入ダクトが干渉する場合があります。

その場合、エアクリーナー導入ダクトは装着することが出来ません。

JZX100/S14/S15/ER34/ECR33/BCNR33/WGNC34/GDB/GRB/BH5/BE5/BP5/BL5/BR9

また、GRB/BP5/BL5/BR9 の場合、当社カーボンサクシジョンキット(生産終了品)と同時装着をする際はカーボンダクト側の逃げ加工が必要です。

#### ファンシュラウドの加工について

ラジエーターホース装着部のパイプ部分等へ、ファンシュラウドが干渉する場合があります。

ファンシュラウド固定用の穴位置が合わなくなる為、干渉する場合はファンシュラウド側を削り、逃げ加工を行って下さい。

※本品は付属の127hpa(1.3kg/cm<sup>2</sup>)のラジエーターキャップを使用するため純正のラジエーターキャップと比べてラジエーターホース類に負荷が掛かります。

ラジエーターアッパーホース、ロアホース、その他ホース類が劣化している場合には新品に交換してください。

劣化している場合、冷却水漏れやホース類破裂の原因となりエンジンの破損に繋がる恐れがあります。

## [5]冷却水の注入、エア抜き

- 1 ドレンプラグ、クランプの締め付けが確実か確認する。
- 2 キースイッチをONにし、ヒーターコントロールの設定温度をHOT側のMAXにする。
- 3 エンジン側にエア抜きプラグが付いている車輛は取り外す。
- 4 冷却水をラジエターのキャップ口元いっぱいまで注入する。  
 ※ラジエターインレットホースおよびラジエターアウトレットホースを手で数回圧迫し、ラジエター注入口の水位が下がる様であれば、追加注入してください。  
 ※エア抜きプラグの有る車輛は、途中でエア抜きプラグから冷却水が噴出したらプラグを閉じてキャップ口元いっぱいまで注入してください。
- 5 リザーバタンクの“MAX”ラインまで冷却水を補充する。
- 6 ラジエターキャップを閉じてエンジンを始動し、サーモスタットが開弁するまでアイドリング回転を保持する。

※ラジエターキャッププレートが付属されている場合は、ラジエターキャップの天面へ貼り付けの上ご使用ください。

※ラジエターアッパータンクは非常に高温になり、火傷の恐れがありますので触らないでください。

キャッププレート

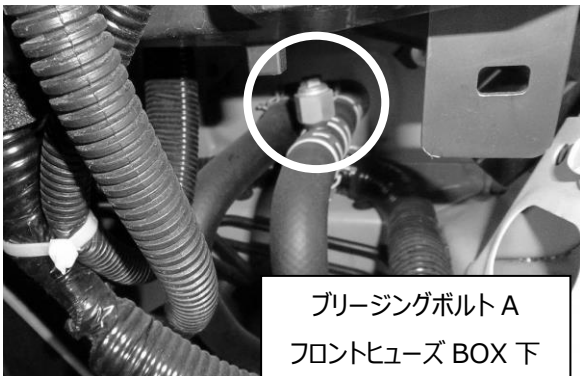


- 7 純正水温計が中央を超えていることを確認し、ラジエターローアースを手で触って温水が流れていることでサーモスタットの開弁を確認する。
- 8 サーモスタットの開弁を確認後、2500rpmで10秒間の空吹かしを3回行う。  
 ※水温の上がり過ぎに注意すること。
- 9 エンジンを停止する。
- 10 冷機後、ラジエターキャップを外し、冷却水の液面を確認する。液面が下がっている場合は6項以降の作業を繰り返す。
- 11 液面が下がらなくなったらリザーバタンクの“MAX”ラインまで冷却水を補充する。
- 12 エンジンを始動し、アイドリングから3000rpmまで回転を上げ、インスト下部より、ヒーターコア流水音がしないことを確認する。流水音がする場合は、6～11項の作業を液面が下がらなくなるまで繰り返す。

※車両によって手順が異なる場合がありますので詳しくは自動車メーカー発行の作業手順書(修理書)の指示に従い作業を行ってください。

## [6]冷却水の注入、エア抜き JW5の場合

1. ドレンプラグ、ホースバンドの締め付けが確実に確認してください。
2. ブリージングボルト A・B・C(下図参照)を緩めた後、冷却水をリザーバタンクから注入します。  
各ブリージングボルトから冷却水が溢れたら、注入を止めて各ブリージングボルトを締め付け、リザーバタンクの MAX レベルまで注入します。ラジエターインレットホースおよびラジエターアウトレットホースを手で数回圧迫し、リザーバタンクの水位が下がる様であれば冷却水を補充します。
3. ラジエターキャップを半回転締めてアイドリング状態で2分間暖機します。
4. エンジンを停止し、リザーバタンクの水位が MAX レベルより下がらなくなるまで、2～3 の作業を繰り返します。
5. ラジエターキャップを締め付けてエンジンを始動し、アイドリング状態でクーリングファンが 2 回作動するまで暖機後、エンジンを停止します。  
(水温が上がらない場合はエンジンを 3000 回転程度でキープします)
6. エンジンが冷えてから、リザーバタンクの水位を確認します。  
水位が MAX レベルより下であれば、MAX レベルまで冷却水を注入します。



## 〔7〕取り付け後の確認

- 1 パイプ、ホース等配管及び配線に間違いがないか再度確認してください。
- 2 ボルト、ナット類、ドレンボルトの締め忘れがないか確認してください。
- 3 冷却水、ATF等の漏れ、にじみがないか確認してください。  
1/8PTサービスホールからにじみがある場合などは、プラグを一旦取り外し、  
シールトープを巻き直して再度取り付けてください。
- 4 再度冷却水の液面がリザーバタンクの“MAX”になっているか確認してください。
- 5 一度冷えてから再度冷却水量を確認してください。

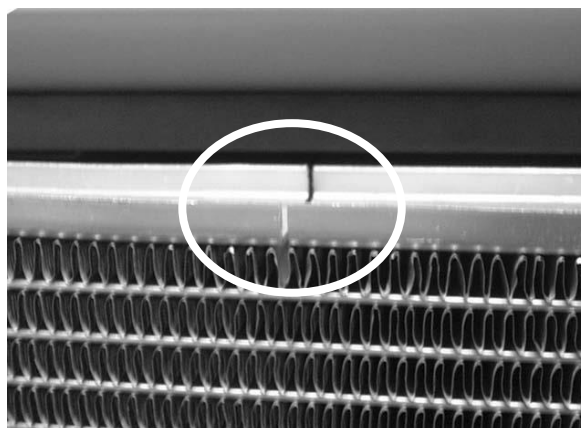
## 〔8〕最後に

### 【作業の方へお願い】

- ・ 作業が終了しましたら、本取り扱い説明書は必ずお客様に返却してください。
- ・ お客様に、同梱されている“CAUTION PLATE”を渡していただき、エンジン暖気後にラジエターアッパータンクを触るとやけどの恐れがあることを伝え、プレートを貼るよう指示してください。

### 【お客様へ】

- ・ 商品に同梱されています“CAUTION PLATE”はラジエターが冷えているときに、ラジエターのアッパータンク等に貼ってください。
- ・ 補修部品としてラジエターキャップをお求めの際は、“〔3〕商品の特徴”に記載されている表より該当車両の“適合タイプ”を確認してお買い求めください。
- ・ 一部車種において、ラジエター本体のサイドプレート部分へ下図のような切れ込みがあります。この切れ込みは、ラジエター本体の耐久性を向上させる為の物で、加工不良ではありません。
- ・ 製品の検査や修理の際、外した純正部品を一時的に使用していただく場合がございます。外した純正部品は、捨てずに保管してください。



**●BLITZ Customer Registration****ブリッツ商品のカスタマー登録について**

ブリッツでは当商品をご所有のお客様に Web サイトでのカスタマー登録をお願いしています。

ご登録いただくと、弊社からの商品に関する最新情報や、限定情報などをご案内させていただきます。弊社 Web サイト([www.blitz.co.jp](http://www.blitz.co.jp))よりオンライン上で簡単に登録が可能ですので、ぜひご登録をお勧めします。

尚、カスタマー登録をされていない場合、製品によっては保証期間内であっても保証規定内容が無効になる場合がございますので、ご了承ください。

製品に付属している「保証書」はカスタマー登録の有無に関わらず、製品の検査・修理のご依頼の際に必要となります。また、カスタマー登録後も製品の保証につきましては製品に付属する「保証書」が必要となります。製品の取扱説明書と共に大切に保管頂きますようお願いいたします。

**●製品についてのご相談先●**

お問い合わせは下記ブリッツサポートセンターまでお願いいたします。

■連絡先 BLITZ Support Center

■TEL 0422-60-2277

■住所 東京都西東京市新町 4-7-6

■FAX 0422-60-0066



## 保証書

この度は本製品をお買い上げ頂き、ありがとうございます。本製品が正常な使用状態で、製造上の原因による故障が生じた場合、下記保証期間中において本状記載の保証規定に基づき無償で修理致します。

|                        |   |                   |
|------------------------|---|-------------------|
| ●車両型式(車検証に記載されています。)   | : | _____             |
| ●エンジン型式(車検証に記載されています。) | : | _____             |
| ●登録年月日(車検証に記載されています。)  | : | _____ 年    月    日 |
| ●走行距離(交換時の距離)          | : | _____ km          |
| ●お客様名                  | : | _____             |
| ●お客様住所                 | : | _____             |
|                        | : | _____             |
| ●お客様お電話番号              | : | _____             |
| ●販売店名                  | : | _____             |
| ●商品購入日時                | : | _____ 年    月    日 |
| ●不具合内容                 | : | _____             |

### 保証期間:ご購入から1年間

消耗品を除く部品に関して、ご購入から1年間、不具合が生じた場合には、  
本保証書及びご購入時のレシート(又は領収書)を持参の上、ご購入店にお申し出下さい。

### 1. 下記の事項に該当した場合は有償修理もしくは有償交換となります

- 1) 上記記載事項抜け及び所定事項を訂正した場合。
- 2) 本保証書及びレシートが無い場合。
- 3) ユーザー様が直接弊社に持ち込んだ場合。
- 4) 弊社にて取り扱い不備によるものと判断させて頂いた場合。
- 5) 不当な改造や修理によって生じた故障や損傷がある場合。
- 6) 他の機器が原因で本製品に故障が生じた場合。
- 7) 保証期間後の経年変化による性能低下、及び消耗品の交換。
- 8) 製品の誤った取付及び取扱。
- 9) 薬品、オイル、飛び石、鉄粉、酸性雨、塩害、凍結防止剤、洗剤等の外的要因による不具合。
- 10) 地震、風水害等の天災、火災、事故による不具合

### 2. 注意事項

- 1) 本製品が原因で生じた付随的損傷(エンジントラブル、その他事故)や自動車が使用出来なかった事による損失(電話代、レンタカー代、休業保証、商業損失)等については、一切の保証は致しかねます。  
また、その際に発生するすべての損失(脱着工賃、関連作業工賃、送料等)についても、  
弊社では一切の保証は致しかねます。
- 2) 本保証書は再発行致しませんので、大切に保管して下さい。

開発・製造・発売元    株式会社ブリッツ

所在地                      〒202-0023 東京都西東京市新町 4-7-6



**株式会社 ブリッツ**

**URL** : <https://www.blitz.co.jp/>

**TEL** : 0422-60-2277

**住所** : 〒202-0023 東京都西東京市新町 4-7-6